

追分宿郷土館 企画展

江戸時代のトラベルガイド



溪斎英泉「木曾街道追分宿浅間山眺望」
追分宿郷土館 蔵

2024年3月11日(月)➤➤7月15日(月・祝)

江戸時代、浅間山南麓に軽井沢宿・沓掛宿・追分宿の3つの宿場町があり、「浅間根腰の三宿」と呼ばれていました。その中のひとつ、追分宿は江戸と京（京都）を結ぶ中山道と、追分宿から越後国（新潟県）に至る北国街道の分岐点に位置し、交通の要所として賑わった宿場町でした。

参勤交代の大名や江戸へ下る公家など多くの供を従えた行列、伊勢参り・善光寺参りなどの社寺参詣、草津の湯への湯治の人々、文人、商人、旅芸人、飛脚、幕府・各藩の役人など、様々な目的で追分宿を通過しました。

今回の企画展では、当館に収蔵している追分宿に残された宿場の資料により、江戸時代、どのようにして旅をしていたのか紹介します。

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）
 - 休館日 水曜日（祝日の場合は開館）
 - 入館料 一般400円（300円）、小中高生200円（150円）
- ※（ ）内は20名以上団体料金、堀辰雄文学記念館にも入館できます。

追分宿郷土館

電話・ファックス 0267-45-1466
長野県北佐久郡軽井沢町追分1155-8

